

目で見る管理

異常、問題点、ムダがひと目でわかるしくみ
すぐに役立つ、効果的な現場管理手法

1 『目で見る管理』はなぜ必要か？ ～現場の異常がひと目でわかるように！～

2 問題が見えるようにするには？

- (1) 問題と課題の違い
- (2) 最初にすべきことは、まず現場観察
- (3) 現状とあるべき姿のギャップを知る
- (4) 問題を問題と認識すると、問題が課題となる

3 『目で見る管理』と『5 S』の関係

- (1) 『目で見る管理』と『5 S』の違い
 - 『目で見る管理』は動的、『5 S』は静的
- (2) 『目で見る管理』に取り組む際の5 S活動の順番とは？
- (3) 生産の4 Mを『見える化』する方法
 - 人と機械の動き ● レイアウト・設備
 - 作業手順書 ● ワーク・部材

- (4) Q (品質) D (納期) C (価格) を見える化する方方法
- (5) 現場で意識する重要な7つのキーワード
- (6) P D C Aは小さく素早く、かつ数多く回すこと

4 『目で見る管理』のやり方

- (1) P D C Aサイクルは“P”ではなく“C”からはじめる
- (2) 正常管理ではなく、異常管理をおこなう
- (3) 迅速な処置と再発防止の2つの対策をおこなう
- (4) 的確なアクションがすぐ取れるしくみをつくる

5 『目で見る管理』の効果と狙い

- (1) 自発的な改善活動の増加、品質の向上
- (2) 個から全体へ広がる改善活動、そして経営成果へ

6 『目で見る管理』のツール〔事例紹介〕

- (1) 現品表示、荷姿管理…保管場所の『目で見る管理』
- (2) 作業管理、異常管理…生産状況の『目で見る管理』
- (3) 設備保全、工具管理…設備異常の『目で見る管理』